

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

● 全世界を震撼させた米同時多発テロから一か月。宗教・文化・風土・政策は違えど、卑劣なテロ行為はごめんです

● ね。日本に生まれ、静かな秋田で暮らせる幸せをかみしめている一人です。全世界が一日も早く穏やかになりますように。(渡部榮子 60歳・保戸野)

● 小五の息子は魚採りに夢中。学校から帰宅後、田んぼの近くの川でどじょうやふなを探っていると、通りかかった人が「昔懐かしい風景だなあ」とつぶやいたそうです。子どもたちに自然とふれ合い、もっと自然を大事にしてほしいと願う言葉に思えました(小松真理子 44歳・飯島)

● 木々の梢も美しく色づき、私も庭の手入れに余念がありません。秋は一年を通して一番好きな季節。旬の食べ物もおいしく、たまに行く魚釣りで趣味と実益、満喫しています(林勲 70歳・御野場)

● 新米が出て、食べものがおいしい季節になりました。収

● 穫の秋「食欲の秋。ダイエットは明日からといつも思うこの頃です(菊地光子 53歳・外旭川)

● 先日、山内村のイモノコをいただいたて、鶏肉、人参、しいたけなどを入れて煮付けにして食べました。すごく粘りもあって、おいしく食べました(沢木敏子 61歳・樽山)

● 理解力の衰えを年齢のせいにしたくないが、IT講習のおかげでインターネットの仕組みや、電子メールの利便性などもだいたい分りかかってきた。せつかくの機会なので、是非ともマスターしたいと思っています(加藤忠直 66歳・仁井田)

● つい最近住民票をもらうために、久しぶりに市役所に行きました。混んでいましたが、手続きがスムーズに済み、笑顔で対応されてうれしかったです(佐藤利恵 32歳・樽山)

● きれいに咲いた庭の花を見て、孫たちとみんなで「この花私のよ」「赤のコスモスは私よ!」と話しています。家族

地域の話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX (866)2287

土崎商店街に「港・まちの駅みうら屋」オープン 店の中ではいつも笑いが絶えません

10月4日、土崎商店街に「港・まちの駅みうら屋」がオープンしました。土崎港元町商店会が、商店街のにぎわいづくりのため、市の補助事業を活用して開業したお店です。バス停が店の真ん前にあるので、行き来がとても便利。

「ここは、単に物を販売するお店というだけではなく、商店街を歩き交うかたがたの交流の場でもあります。みなさんも買い物帰り

にでも、みうら屋でひと休みしながら世間話をしてみてはいかがでしょう」と店員さん。

店内には、昔なつかしい駄菓子やガチャガチャなどがあるほか、無料でインターネットを利用することもできます。毎週木曜日午前10時から、100円均一の朝どり野菜即売コーナーもあります。

子どもからお年寄りまで気軽に利用できて、のんびり過ごせるい

こいの場です。



お店の中に入ると子どもの頃に戻ったような感じがしてきますよ